

KAWASAKI

かわさきアートニュース

Vol.281

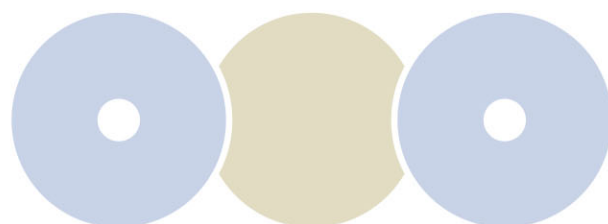
2019年11月号



このロゴの各文字は、出展している障害福祉施設で分担してデザインしました。

CONTENTS [目次]

- 02 | 特集 **Colors かわさき 2019展**
～色とりどりの未来へアートがつなぐ～
障がいのあるなしに関わらず一つ一つの作品の
魅力を伝える展覧会
- 04 | 音楽 **ミューザ川崎シンフォニーホール**
- 07 | 歴史・文化 **東海道かわさき宿交流館**
- 08 | イベントレビュー
- 10 | 美術 **市内ギャラリー情報**
- 13 | 演劇 **アルテリオ小劇場**
- 14 | 映画 **アルテリオ映像館**



THE KAWASAKI FOUNDATION

COLORS かわさき 2019展

～色とりどりの未来へアートがつなぐ～

Colors かわさき 2019展とは？

- 2019年11月15日(金)～11月24日(日)10時～18時
- ミューザ川崎シンフォニーホール4階 企画展示室(川崎市幸区大宮町1310)

※(巡回展)11月30日(土)10時～15時「手をつなぐフェスティバル」(主催:川崎市)

とどろきアリーナ(川崎市中原区等々力1-3)

[主催] 公益財団法人 川崎市文化財団 [共催] 川崎市/川崎市教育委員会
[企画] アーティスト/アートディレクター 大平 暁(NPO法人 studio FLAT 理事長)
[助成] 2019年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



昨年の様子

障がいの有無に関わらず一つ一つの作品の魅力をダイレクトに感じてもらう展覧会。

50名を超える市民アーティストによる作品、田島支援学校・中央支援学校・聾学校の児童生徒による作品、そして幸高校生徒有志と障がいのあるアーティストの共同作品を展示します。

※この展覧会は、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた川崎市の「パラムーブメント」の方針に基づき、障がいのある人もない人も共に文化芸術活動に取り組むことのできる環境づくりを進める川崎市文化財団の「パラアート推進事業」として開催します。

来場者の皆さんの声(昨年度アンケートより)

- フラットと立ち寄ったが予想外の感動!!自由の枠にとらわれない自由を感じました。エネルギーをもらいました。(30代)
- 障がい者としてではなく1人の人間としての才能を感じさせるものでした。(70代)
- アートはあらゆる人にとって、心の中を写し出す。自分の心にも響くものがありました。(60代)
- 作品のレベルが高く、また粒ぞろいですばらしかった。大きなキャンバス作品で見応えがあった。(40代)
- 新鮮な感覚を感じた。作品を通して各個人の内外面を知れた。自分自身の視野が広まった。驚くほどレベルが高いと感じる作品もあった。(30代)

販売支援の取り組み

会場では、出展作品の販売支援につながる情報提供を行います。

「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」(平成30年6月施行)などを踏まえ、障がいのある人たちの自信形成をサポートする機会となることを期待しています。

関連イベント

交流会

- 11月16日(土)15:00～17:00
 - 参加費無料(事前申込不要)
- 展示作品の作者や来場者など様々な人とアートを通じてつながっていく機会になるような場です。お気軽にご参加ください。

共生社会へ向けて、アートがつなぐ! ワークショップ

- 11月16日(土)14:00～15:00
 - 参加費無料(事前申込不要)
- 市立幸高校生徒有志とstudio FLAT×来場者の皆さんで、未来の川崎をイメージしながら糸をつなぎましょう。



公開制作

- 11月17日(日)13:00～14:30
 - 参加費無料(事前申込不要)
- 絵画講師とstudio FLATアーティストが普段どんなふうに絵画制作を行っているのか、その様子をご覧いただけます。

ワークショップ

- 11月23日(土・祝)、24日(日)13:00～15:00
 - 参加費無料(事前申込不要)
- 23日/大園一樹
「色紙で立体をつくろう」
山内健資「リクエストで動物を描く」
24日/Miko「リクエストで似顔絵を描く」



ギャラリートーク

- 11月16日(土)15:45～、17日(日)11:00～、23日(土・祝)11:00～、24日(日)15:00～
 - 参加費無料(事前申込不要)
- アートディレクターを中心に、日によっては出展者や出展施設・団体の方から展示作品に関するお話を聞くことができます。(毎回約30分程度)

障がいのある方の絵画活動の指導 講演会&座談会

～“寄り添う”ことで個性を引き出す現場づくりのために～

- 11月20日(水)18:30～20:30
 - 参加費無料 ● 4階 研修室1
- 講師:金子光史先生(絵画工房「フェース of ワンダー」主宰)
※要事前申込/定員30名程度/10月1日(火)9:00～先着順
川崎市文化財団までFAXまたはメールでお申し込みください。

展覧会に向けて 色々な場所で作品制作を行いました

協力：大平暁先生(NPO法人studio FLAT理事長)、磯部真樹子先生(社会福祉法人みのり会 講師)

特別支援学校

市内特別支援学校3校の授業や部活動の中で、絵画制作を行いました。子どもたちの作品は、川崎市のロゴマークにちなんで、光の三原色(赤、緑、青)の川の字の形に展示予定です。



7月4日 市立田島支援学校にて



7月18日 市立雙学校にて



9月20日 市立中央支援学校分教室にて

Colors 絵画教室

初の試みとして、障がいのある方で、日ごろから描く場所や指導を求めている方を公募し、全4回の絵画教室を開きました。

中原市民館の実習室を利用し、整った環境で制作を行いました。



8月11日、9月8日 中原市民館実習室にて

障害福祉施設

公募で希望のあった市内の障害福祉施設2ヶ所へ各3回ずつ出張し、展覧会へ向けた指導を行いました。



8月6日 地域活動支援センター
さくらスタジオにて



8月9日 社会福祉法人なごみ福祉会
夢花工房にて

職員さんの声(昨年度のアンケートより)

今まで、絵を描くことが好きな方には「外部の作品展に出してみても」とお知らせのみで、今回事務所で「アート」として絵を描く企画を設けたのはとても良い経験になりました。

職員は美術の先生ではないので、絵を「いいねえ」とほめることはできてもアドバイスができないので「1つの作品」として完成させる過程を出張指導で見させていただき、またそれが良いものに仕上げる事ができたのは大平先生のおかげだと本当に思います。利用者さんの今ある才能、力を伸ばすという意味で本当に良い経験となりました。

幸高校×studio FLAT

市立幸高校のご協力のもと、1年生有志7名とstudio FLAT(※)アーティストの皆さんが、自校の文化祭や今回の展覧会のためにアート作品を共同制作しました。

テーマは“未来の川崎のまち”。夏休みにお互いの学校・施設で交流を深めながら作った作品は、“さをり織り”という、福祉施設の作業の残り糸を用いており、展示中も来場者の皆さんに糸をつないでいただくことで(左ページ関連イベント参照)さらに素晴らしいものになっていく予定です。

※…自閉症などの知的がいを持つ作家たちと協働し、アートによる共生、経済的な自立を目指すアートスタジオ。



7月23日 セルブきたかせにて



8月17日 市立幸高校にて

生徒の皆さんの声

●これまで障がいのある方は少し近寄りがたい存在でしたが、一つ一つの作業に声をかけてみて、だんだん「何色が好きですか」など普通に話することができるようになって楽しかったです。

(1年生・前田祐歌さん)

●私はみんなで糸をつないだときの出来事が印象に残っています。糸と糸をつないでいたら、目の前の方が糸を指に巻いて輪っかを作っていて。自分にはないアイディアで、センスが光っていてとても感動しました。(1年生・西條愛理沙さん)

ミューザ川崎シンフォニーホール おすすめ公演情報

MUZA パイプオルガン クリスマス・コンサート2019

～世界のクリスマスを聴く～

ホールオルガニスト大木麻理が、ハンドベルと初共演!

名曲にのせて世界中のクリスマスをオルガンとハンドベルで幻想的に歌いつなぎます。

12月21日(土)14:00開演(13:30開場)

[出演] オルガン:大木麻理

ハンドベル:きりく・ハンドベルアンサンブル

[曲目] J.W.ジョーンズ:“もろびとこざりて”による変奏曲

チャイコフスキー:組曲「くるみ割り人形」より

J.S.バッハ:協奏曲ト長調 他

[チケット] 全席指定3,500円 U25(小学生～25歳)1,000円

グリューワイン、クリスマスのお菓子を特別販売! 開演前や休憩中にお楽しみください。



大木麻理
©Mari Kusakari



きりく・ハンドベルアンサンブル

好評
発売中

MUZA ジルベスターコンサート2019

令和元年ラストを飾るゴージャスでドラマティックなジルベスター

今年の聴き納めは特別版《こうもり》

12月31日(火)15:00開演(14:15開場)

[出演] 指揮:秋山和慶

管弦楽:東京交響楽団

ヴァイオリン:成田達輝

ファルケ博士(台本・構成):大山大輔

アイゼンシュタイン:村上公太

ロザリンデ:柴田紗貴子

アデーレ:小林沙羅

[曲目] チャイコフスキー:バレエ音楽『白鳥の湖』組曲より「ワルツ」

チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 二長調

J.シュトラウスⅡ:喜歌劇『こうもり』ハイライト〈日本語上演・演奏会形式〉

[チケット] S席7,000円 A席6,000円 B席5,000円 C席4,000円 U25(小学生～25歳)各席半額



秋山和慶



成田達輝
©Marco Borggreve



大山大輔
©Yoshinobu Fukaya



村上公太



柴田紗貴子



小林沙羅
©NIPPON COLUMBIA

好評
発売中

MUZA スペシャルナイトコンサート MUZA JAZZ NIGHT!

各日19:00開演(18:30開場)

[チケット] 全席指定4,000円 U25(小学生～25歳)1,500円 3公演セット券(300席限定)9,600円

[発売日] Web先行発売10月7日(月) 一般発売10月12日(土)

Vol.1 ● 渡辺香津美 プレゼンツ LIVE at MUZA

2020年1月24日(金)

[出演] ギター:渡辺香津美 サックス:須川展也

トロンボーン:村田陽一 ベース:井上陽介

[曲目] TOCHIKA、Minor Swing、遠州つばめ返し 他



渡辺香津美

須川展也

村田陽一

井上陽介

Vol.2 ● バレンタインスペシャル

2020年2月14日(金)

[出演] ピアノ:H ZETT M **[曲目]** 当日発表

Vol.3 ● “ドラムの神様”がミューザに降臨!

2020年3月18日(水)

[出演] ブリッチャー・ハマー・ガッドトリオ

ドラムス:スティーヴ・ガッド サックス:ミカエル・ブリチャー

ハモンド B-3 オルガン:ダン・ヘマー

[曲目] 当日発表



H ZETT M



ブリッチャー・ハマー・ガッドトリオ

2020→2021シーズン ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集

TOKYO
SYMPHONY
ORCHESTRA
Jonathan Nott, Music Director

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

速報版

会場：ミューザ川崎シンフォニーホール

前期シリーズ

第156回 2020 4.19 日 2:00 p.m.



指揮：秋山和慶
ピアノ：小山実稚恵
ワーグナー：楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第1幕への前奏曲
ショパン：ピアノ協奏曲 第1番
チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第1番

秋山和慶

小山実稚恵

S:¥6,000 A:¥5,000 B:¥4,000 C:¥3,000

第157回 2020 5.17 日 2:00 p.m.



指揮：飯森範親
ソプラノ：梅津 碧
モーツァルト：歌劇「魔笛」序曲、夜の女王のアリア
オッフェンバック：喜歌劇「天国と地獄」序曲 他
バーンスタイン：「キャンディード」序曲
クネンゴンドのアリア
チャイコフスキー：交響曲 第6番「悲愴」

飯森範親

梅津 碧

S:¥6,000 A:¥5,000 B:¥4,000 C:¥3,000

第158回 2020 6.21 日 2:00 p.m.



指揮：沼尻竜典
ピアノ：マルカンドレ・アムラン
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」
ベートーヴェン：交響曲 第3番「英雄」

沼尻竜典

マルカンドレ・アムラン

S:¥6,000 A:¥5,000 B:¥4,000 C:¥3,000

第159回 2020 9.13 日 2:00 p.m.



指揮：原田慶太楼
ピアノ：鐵 百合奈
スッペ：喜歌劇「詩人と農夫」序曲
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第0番 変ホ長調 WoO 4
プロコフィエフ：交響曲 第5番

原田慶太楼

鐵 百合奈

S:¥6,000 A:¥5,000 B:¥4,000 C:¥3,000

第160回 2020 10.24 土 2:00 p.m.



指揮：梅田俊明
ヴァイオリン：川久保賜紀
J.S.バッハ（ウェーベルン編）：6声のリチェルカーレ
（「音楽の捧げもの」から）
バーバー：ヴァイオリン協奏曲
ブラームス：交響曲 第4番

梅田俊明

川久保賜紀

S:¥6,000 A:¥5,000 B:¥4,000 C:¥3,000

後期シリーズ

第161回 2020 11.14 土 2:00 p.m.



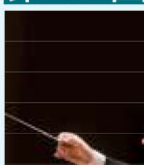
指揮：ジョナサン・ノット
ピアノ：小菅 優
矢代秋雄：ピアノ協奏曲
ブルクナー：交響曲 第6番

ジョナサン・ノット

小菅 優

S:¥7,000 A:¥6,000 B:¥4,000 C:¥3,000

第162回 2020 12.20 日 2:00 p.m.



指揮：秋山和慶
ソプラノ：森野美咲 メソソプラノ：小野美咲
テール：小原啓楼 バリトン：大山大輔
合唱：東響コーラス
ベートーヴェン：「エグモント」序曲
ベートーヴェン：交響曲 第9番「合唱付」

秋山和慶

森野美咲

S:¥7,000 A:¥6,000 B:¥4,000 C:¥3,000

第163回 2021 1.30 土 2:00 p.m.



指揮：沖澤のどか（第18回「東京国際音楽コンクール」指揮部門で優勝）
ヴァイオリン：米元響子
ピアノ：北村朋幹
ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.61
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第6番 二長調 op.61a

沖澤のどか

米元響子

S:¥6,000 A:¥5,000 B:¥4,000 C:¥3,000

第164回 2021 2.11 木・祝 2:00 p.m.



指揮：ジャンルイジ・ジェルメッティ
ロッシーニ：歌劇「泥棒かささぎ」序曲
歌劇「セヴィリアの理髪師」序曲
歌劇「チェネントラ」序曲
歌劇「セミラーミデ」序曲
メンデルスゾーン：交響曲 第4番「イタリア」

ジャンルイジ・ジェルメッティ

ジャンルイジ・ジェルメッティ

S:¥6,000 A:¥5,000 B:¥4,000 C:¥3,000

第165回 2021 3.13 土 2:00 p.m.



指揮：ジョナサン・ブロクスハム
ピアノ：藤田真央
モーツァルト：ピアノ協奏曲 第24番 K.491
シベリウス：交響曲 第2番

ジョナサン・ブロクスハム

藤田真央

S:¥6,000 A:¥5,000 B:¥4,000 C:¥3,000

●チケット料金(税込) ※ミューザ友の会・東響会員の方は、各公演の1回券(各席種)を10%割引にてご購入いただけます。※セット券の会員割引はありません。

席種	S席	A席	B席	C席	一般発売	ミューザ友の会・東響会員 先行発売
年間セット券(10公演)	¥46,500	¥39,000	¥30,000	¥22,500	2019.11.21(木)	2019.11.11(月)
前期セット券(5公演)	¥24,000	¥20,000	¥16,000	¥12,000	2020.1.30(木)	2020.1.20(月)
後期セット券(5公演)	¥25,600	¥21,600	¥16,000	¥12,000	2020.6.4(木)	2020.5.25(月)

一回券・前期 一般発売 2020.2.17(月) ミューザ友の会・東響会員先行発売 2020.2.6(木)

一回券・後期 一般発売 2020.6.18(木) ミューザ友の会・東響会員先行発売 2020.6.8(月)

当日学生券 (25歳以下の学生) ¥1,000 (残席がある場合のみ、要問合せ)

チケットのお問合せ

- ・ミューザ川崎シンフォニーホール
044-520-0200(10:00-18:00)
- ・4階チケットカウンター(10:00-19:00)
- ・ミューザWebチケット <http://muza.pia.jp/>
- ・TOKYO SYMPHONY チケットセンター
044-520-1511(10:00-18:00、土日祝休み)

主催：ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)、公益財団法人 東京交響楽団

音楽のまち・かわさき

11月 2019年

コンサートカレンダー

MUZA Kawasaki Symphony Hall Concert Calendar November, 2019

「11月の催し」
※チケット料金、残席情報等は各公演のお問い合わせ先までお尋ねください。

2 土

18:30開演

横浜フィルハーモニー管弦楽団 第82回定期演奏会

指揮：阿部未来
チャイコフスキー：「エフゲニー・オネーギン」よりボロネーズ／チャイコフスキー：バレエ組曲「白鳥の湖」／ドヴォルザーク：交響曲第7番

全席指定 ¥1,000(65歳以上の方は当日券のみ500円)

お問合せ 横浜フィルハーモニー管弦楽団 事務局 チケット 080-5476-8223

3 日祝

13:30開演

東京アマデウス管弦楽団 第90回記念演奏会

指揮：松下京介 総監督：埴金正雄 演出：馬場紀雄
ブッチーニ：歌劇「ラ・ボエーム」全幕演奏会形式 原語上演(字幕付)

全席自由 ¥3,000

お問合せ 東京アマデウス管弦楽団 事務局 090-4226-8012

4 月休

13:30開演

ミューザ川崎ホリデーアフタヌーンコンサート2019後期 「ウィーンの薫り/クロイツェル・ソナタ」ライナー・キュッヒル ヴァイオリン・リサイタル

ヴァイオリン：ライナー・キュッヒル ピアノ：加藤洋之
ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第9番「クロイツェル」／クライスラー：愛の喜び、愛の悲しみ、ジプシー奇想曲、カルティエの様式による狩 他

全指定席 ¥4,100/舞台後方席 ¥2,500

お問合せ 神奈川芸術協会 045-453-5080 チケット 友

5 火

12:10開演

JFE Presents MUZAランチタイムコンサート11月 パイスオルガン&トランペット

パイプオルガン：都築由理江 トランペット：服部孝也
シャルバンティエ：「テ・デウム」から前奏曲／ヴィドール：オルガン交響曲第5番から第1楽章 他

全席自由 ¥500

お問合せ MUZA チケット

6 水

19:00開演

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

指揮：アンドレス・オロスコ＝エストラダ ピアノ：イェフィム・ブロンフマン
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番／ストラヴィンスキー：バレエ音楽「春の祭典」

⑤¥35,000(僅少) ④¥30,000(僅少) ③売切 ②売切 ①売切

お問合せ MUZA チケット

9 土

18:30開演

町田フィルハーモニー交響楽団 第89回定期演奏会

指揮：北原幸男
ドヴォルザーク：交響曲第8番／ハチャトゥリアン：組曲「仮面舞踏会」／グリグ：歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲

全席指定 ¥1,500

お問合せ 町田フィルハーモニー交響楽団 事務局 050-5534-6049 チケット

10 日

14:00開演

ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集 第151回

指揮：沼尻竜典 ピアノ：ユッセン兄弟(アルトゥール・ユッセン&ルーカス・ユッセン)
モーツァルト：3台のピアノのための協奏曲「ロンド」(ピアノ2台バージョン)／ショスタコヴィチ：交響曲第11番「1905年」

⑤¥6,000 ④¥5,000 ③¥4,000 ②¥3,000
当日学生券 ¥1,000 ※要問合せ

お問合せ MUZA 友 東響 チケット

11月・12月 公演予定

16 土

17:00開演

かわさきジャズ2019 My Favorite Songs ~佐山雅弘メモリアルコンサート

May J.など豪華ミュージシャン15名
第1部：佐山雅弘が育てた若手ミュージシャン／第2部：ジャズ・ピアノ6連弾の仲間たち／第3部：佐山雅弘トリビュートバンド

*途中休憩2回
・20:00終演予定

⑤¥6,000 ④¥5,000 ③¥4,000
学生券 ¥2,000 (B席エリア)

お問合せ MUZA 友 チケット

17 日

14:00開演

東京交響楽団 川崎定期演奏会 第72回

指揮：ジョナサン・ノット
ベルク：管弦楽のための3つの小品／マーラー：交響曲第7番「夜の歌」

⑤¥9,000 ④¥7,000 ③¥5,000 ②¥4,000 ①¥3,000 ※ミューザ取扱分は全席種販売終了

お問合せ TOKYO SYMPHONYチケットセンター 044-520-1511 チケット 友 東響

19 火

19:00開演

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団

指揮：ズービン・メータ チェロ：ルートヴィヒ・クヴァント ヴィオラ：アミハイ・グロス
R.シュトラウス：交響詩「ドン・キホーテ」／ベートーヴェン：交響曲第3番「英雄」

⑤売切 ④売切 ③売切 ②売切 ①売切

お問合せ MUZA チケット

22 金

19:00開演

ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団

指揮：バーヴォ・ヤルヴィ ピアノ：ラン・ラン
ワーグナー：歌劇「タンホイザー」序曲／ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第2番／ブラームス：交響曲第4番

⑤売切 ④売切 ③売切 ②売切 ①売切

お問合せ MUZA チケット

23 土祝

15:00開演

音楽大学オーケストラ・フェスティバル2019

上野学園大学(指揮：清水醒輝) 国立音楽大学(指揮：準・メルクル)
ロッシニ：歌劇「泥棒かざさぎ」序曲／ファリャ：バレエ音楽「三角帽子」第2組曲／
ヒンデミット：ウェーバーの主題による交響的変容(以上、上野)／バルトーク：管弦楽のための協奏曲(国立)

全席指定 通し券 ¥2,250/一回券 ¥1,000

お問合せ MUZA チケット

24 日

11:00開演

モーツァルト・マチネ 第38回

指揮：ジョナサン・ノット オーボエ：荒絵理子 管弦楽：東京交響楽団
R.シュトラウス：オーボエ協奏曲／モーツァルト：交響曲第41番「ジュピター」

全席指定 ¥3,500/U25(小学生～25歳以下) ¥1,000

お問合せ MUZA 友 東響 チケット

24 日

17:30開演

ル スコアル管弦楽団 第47回定期演奏会

指揮：富平泰平
バーンスタイン：キャンディード序曲／コーブランド：バレエ組曲「アバラチアの春」／コーブランド：交響曲第3番

全席自由 ¥1,000

お問合せ 石黒 04-2945-3391

30 土

18:30開演

お茶の水管弦楽団 第105回定期演奏会

指揮：グレブ・ニキティン ピアノ：水野ゆみ
チャイコフスキー：歌劇「エフゲニー・オネーギン」より 間奏曲とワルツ／ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番／ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界より」

全席自由 無料

お問合せ お茶の水管弦楽団 広報係(伏谷) 090-2225-2548

MUZA マークの付いた公演はホール主催または共催です。ミューザ川崎シンフォニーホール(044-520-0200)までお問合せ下さい。また、託児サービスのご用意がございます(一部、例外のある公演もございます)。
東響 マークの付いた公演はTOKYO SYMPHONYチケットセンター(044-520-1511)でもご購入いただけます。
チケット マークの付いた公演は、ミューザ川崎シンフォニーホール・チケットセンターにてお取り扱いしております。
友 マークの付いた公演は、ホール友の会会員割引がございます。(セット券を除く) 残席状況はお問合せ下さい。売切れの際はご容赦下さい。

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

15
YEARS

お問い合わせ：ミューザ川崎シンフォニーホールチケットセンター
Tel. 044-520-0200 (10:00-18:00) ミューザ川崎シンフォニーホール
川崎市幸区大宮町1310 JR川崎駅中央西口直結

ミューザ 検索
詳しくはミューザ
webページをご覧ください。



東海道かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



休館日：毎週月曜日。月曜が祝日の場合は、翌平日が休館。

川崎市観光写真コンクール入賞作品展 「街(かわさき)を撮る」

第62回川崎市観光写真コンクール入賞作品を紹介した展覧会です。

期間／10月29日(火)～11月30日(土)

会場／東海道かわさき宿交流館3階

料金／無料



街道シリーズ講演会

第32回「高麗人大移動の道“高麗若光ライン”の謎」

神奈川県の大磯高麗山からみると埼玉県日高市の高麗本郷が真北にあたるという不思議があります。この二つの高麗を結ぶ南北道には、飛鳥のまちづくりや武蔵国府建設に関わる壮大な繋がりがあった?! 高麗系渡来人たちの「北天祭祀と測量」の壮大な関りを、飛鳥と武蔵国府建設や、多摩丘陵、調布・深大寺創建の謎をからめつつお話しします。

日時／11月16日(土)14時開演(開場13時30分)

講師／宮田太郎(歴史古道研究科) 会場／東海道かわさき宿交流館4階

定員／当日先着100名 料金／無料(全席自由)



大磯「高麗山」山頂の高麗神社上社跡

講談de交流 第9回

古くから多くの人々に愛されている伝統芸能「講談」。その独特な語り調子によって繰り広げられる物語を、心行くまでお楽しみください。

日時／11月20日(水)14時～(開場13時30分)

出演者／前座：一龍斎貞奈 真打：一龍斎春水

会場／東海道かわさき宿交流館4階

定員／120名

申込方法／往復はがきに、住所・氏名・電話番号・参加人数(はがき1枚につき、2名まで申込み可)・「講談希望」と明記の上、〒210-0001 川崎市川崎区本町1-8-4 東海道かわさき宿交流館まで。締切 11月9日(土)必着

料金／無料(全席自由)



一龍斎貞奈



一龍斎春水

展示

宿場時代の川崎[2階]

江戸時代の川崎宿の歴史や当時の情報があります。旅人の衣装を着て記念撮影もできます。



展示

江戸から現代へ[3階]

明治以降の川崎市の歴史や、ゆかりの人物などの展示があります。



貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が必要です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4

TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314

<http://www.kawasakishuku.jp/>

【アクセス】京急川崎駅より徒歩約6分、

JR川崎駅中央東口から徒歩約10分、北口東から徒歩約10分



第29回

夏休み能楽体験・鑑賞教室



夏休みの3日間で、子供から大人まで「能」について学び、体験ができる教室を開催しました。毎年大好評をいただいております、今年は144名の方々に参加いただきました。

1日目の「お話」では、能楽師 鶴澤久先生、光先生が能の成り立ちや種類について説明。実際に能面や装束、扇等を見せながらお話してくださいました。2日目の「体験」では、所作、仕舞、笛、小鼓、大鼓、太鼓を各15分ずつ体験。先生の動きを真似して音を鳴らし、声を出し、体を動かすことで、全身を使って能の難しさや楽しさを感じている様でした。最終日の「鑑賞」の演目は『葵上』。鑑賞後の質問コーナーでは、子供も大人も各々の視点から気づいたことや学び得たことについて発表していました。

【参加者の声より】

- 能楽を体験して楽しかった。また、内容によってお囃子の音が変わるということが面白かった。また来年も参加したいです。友達や親せきに能のことを教えてあげたいです。(小5)
- 今回の葵上の説明があり、よくわかった。大変楽しかった。再度経験したい。日本の古楽器にさわられて良かった。なかなかないチャンス。(一般参加)
- 娘が初めての能楽鑑賞をさせていただき、「能楽」そのものの存在を理解することができ、夏休みの良い経験になったと思う。(保護者)

(7月25・26・28日 川崎能楽堂)

第86回 ラゾーナ納涼寄席

8月は「納涼寄席」として、夏らしい怪談話をお届けしました。前座・柳亭市若さんによる『平林』に続き、真打ち・林家鉄平さんの噺は『目黒のさんま』。殿様が目黒で口にした庶民の魚であるさんまを気に入り、後日親族の集りでさんまをリクエストすると、家臣のいらぬ世話で油と骨を抜いた不味いさんまが出てきます。日本橋で取り寄せた新鮮なさんまに対し、「さんまは目黒に限る」と言い放つ最後に、会場がわっと湧きました。

つづいて、『鰻屋』を披露した初音家左吉さんは9月に真打昇進し、「古今亭ざん志」へ改名されました。「古今亭の秘密兵器と言われてうん十年、秘密で終わらなくてよかった」とのあいさつで、祝福の笑いが起こりました。鰻屋を訪れる客が鰻に振り回される本編も、歯切れ



のよいクライマックスでした。

トリは、初音家左橋師匠による怪談話『豊志賀の死』。徐々に会場の明かりが落とされる不気味な雰囲気の中、女性の嫉妬に関する噺が進んでいきます。呪いが書かれた女性の遺書と、白い夕顔の花が出てくるラストに、静かな怖さが漂いました。

次回のラゾーナ寄席も第3火曜日の開催です。詳細は裏表紙をご覧ください。

(8月20日 ラゾーナ川崎プラザソル)

江戸時代の粋に遊ぶ 第39回

「女流義太夫」



「義太夫」という言葉は、あまり聞きなれないものかもしれません。これは、「義太夫節」の略称で、物語に三味線の伴奏で節をつける浄瑠璃の一流派です。17世紀後半に竹本義太夫によって創始され、太夫の可憐な語りと三味線の重厚で迫力ある演奏で、多くの人を魅了してきました。こうした浄瑠璃などの演目には、歴史を背景とした重厚な物語が多く、緊迫した場面が長く続くこともあります。しかし、そうした物語の中には、気分転換として「チャリ場」という、ユーモアを全面に押し出した物語が挟まれるそうです。

今回、交流館で開催した「女流義太夫」では、演目『一谷嫩軍記』の中から、「チャリ場」が連続する「脇ヶ浜宝引の段」をたっぷり40分演じていただきました。百姓と庄屋の繰り広げるドタバタ劇に会場からは、終始クスクスという笑い声漏れていました。通常の公演では「チャリ場」のみを演じることはなく、今回のような舞台は大変珍しいとのこと、演者だけでなく、来館された皆さんにとっても、かなり貴重な公演となりました。

次回の江戸時代の粋に遊ぶも、皆さまのご来場、お待ちしております。

(8月24日 東海道かわさき宿交流館)

音楽イベントボランティア説明会



「音楽のまち・かわさき」推進協議会では、年間を通して市内音楽イベントの運営を支えるボランティアの募集を行っています。「かわさきジャズ2019」の開催にあたり、新たにボランティア活動を希望する方を対象に説明会を開

催しました。2日間で22名が参加し、昨年のかわさきジャズ2018内のイベントや、ボランティア活動の様子を写真・映像で見たのち、それぞれの応募のきっかけ等を含めた自己紹介を行いました。ジャズを聴くのが好きな方や、大人になってから楽器を習い始めた方、スポーツや教育に関するボランティアを経験したことがある方など、様々な想いを持つ方が集まりました。

ボランティアの皆さんには、公募型ライブの会場整理や、川崎駅周辺をジャズでジャックするJAZZ JACK DAY!(11月16日開催)中のパレードのサポート、ホール公演でのチケットもぎり等で活躍いただきます。11月17日まで開催される、かわさきジャズの公演やイベントを訪れる際には、ぜひご注目ください。今後のボランティア活動に参加ご希望の場合は、「音楽のまち・かわさき」推進協議会 ホームページ上のトップバナーから、インターネットSNSサイト「おんまち交流広場」に会員登録をお願いします。

(9月6日 川崎市文化財団会議室、9月7日 高津市民館)

アルフィート・ガスト

パイプオルガン・リサイタル



毎年ミュゼ川崎シンフォニーホールで開催している、世界的オルガニストによるパイプオルガン・リサイタル。今年は、歴史あるリュベックの聖ヤコビ教会のオルガニストであり、ロマン派音楽の現代最高の解釈者と評されるアルフィート・ガスト氏のリサイタルをお贈りしました。

J.S.バッハの荘厳な響きの中で始まり、ホールの中はオルガンの豊かな響きに包まれました。ジャン・アランやマックス・レーガー、フランツ・リストなどの名曲が続き、長身のガスト氏は、迫力がありながらも非常に細やかな演奏で、それぞれの曲の持つ表情を豊かに表現しました。華やかさから静寂な雰囲気まで幅広く表すオルガンの多彩な音色や、力強く壮大な響きをお楽しみいただきました。

終演後はアフタートーク「ガスト教授のロマン派談義」を開催。リサイタルでも取り上げられたロマン派の巨匠・リストの人生から、名曲「バッハの名による前奏曲とフーガ」が作曲された背景や曲の改訂について、さらにはリストがどのように実際の楽器の音色をイメージして作曲を進めたかなど、お話いただきました。ガスト氏本人と、彼の弟子でありミュゼ川崎シンフォニーホール・ホールオルガニストの大木麻理氏によるデモ演奏を交えて、興味深いトークが展開されました。

(9月8日 ミュゼ川崎シンフォニーホール)

初めての方にも分かる

～ 能 楽 入 門 ～

能楽とは?

「能」と「狂言」の2つを合わせて「能楽」と呼びます。

約650年以上前(室町時代頃)から続く、日本最古の伝統芸能です。

「能楽」は世界で最も歴史の長い舞台芸術として、ユネスコ無形文化遺産にも登録されています。

能

一仮面をつけて演じる歌舞劇一

能は、主に「面」という仮面をつけた主役が、囃子(器楽)や謡(声乐)に合わせてセリフを言い舞うことで物語が進む劇で、オペラやミュージカルに近い存在といえます。上演時間は1演目60分～90分程度。約250演目あります。「動く彫刻」とも評されます。

役割

能の出演者には各々の所属や役割があります。

- シテ方(主役をつとめる能楽師のグループ)
 - シテ…主人公(亡霊等非現実的な役が多い)。
 - ツレ…シテの助演者。
 - 後見…演者の手助けをし、緊急時には代役を務めることもある。舞台進行の見届け役。
 - 地謡…合唱隊、その場の情景や登場人物の心境等を謡う。
- ワキ方(シテの相手役をつとめる能楽師のグループ)
 - ワキ…シテの相手役(現在に生きる男性役)。
 - ワキツレ…ワキの助演者。
- 狂言方(狂言を演じる能楽師のグループ)
 - アイ(間狂言)…能の中に登場する狂言のこと。登場人物の説明等語が必要な場で登場する。前半と後半のつなぎ役。
- 囃子方(音楽を担当する能楽師のグループ)
 - シテや地謡を榮やす＝囃す役割があります。
 - 笛…能管とも呼ばれる横笛。唯一の吹奏楽器。

- 小鼓…暖かく柔らかみのある音が特徴。温度や湿度に敏感。
 - 大鼓…鋭く男性的な音色が特徴。
 - 太鼓…神や精霊等、人間ではない役が登場する時に演奏する。
- 楽器の演奏だけではなく、囃子方は「掛け声」が重要です。演奏の盛り上げや拍のカウント等をしています。



©kyoran/能楽イラスト+++

狂言

一コントのような会話劇一

狂言は、人物の会話にそって物語が進む劇で、演劇に近い存在といえます。上演時間は1演目15分～30分程度。約250演目あります。主役はどこにでもいそうな人が多く、テーマは日常に潜む人間のおかしさ、悲しさ、愚かしさを風刺する内容が多いです。大きな身振り手振りや声で面白おかしく演じられ「現代のコント」とも評されます。

役割

狂言の出演者には各々の所属や役割があります。

- 狂言方(狂言を演じる能楽師のグループ)
 - シテ…主人公。 ● アド…シテの相手役。
 - 後見…演者の手助けをし、緊急時には代役を務めることもある。舞台進行の見届け役。
 - 地謡…合唱隊。必要に応じて謡うため曲によっては登場しないこともある。
- 囃子方(音楽を担当する能楽師のグループ)
 - 囃子方は能だけではなく狂言にも登場しますが、必要に応じて演奏するため曲によっては登場しないこともあります。楽器は能と同様のものを使用します。



©kyoran/能楽イラスト+++

～能楽公演案内～

川崎能楽堂では年に5回の定期公演を開催しております。

初めてご鑑賞される方も大歓迎! ご興味のある方はぜひお越しください。

● 2019年12月14日(土) 第118回川崎市定期能 [第1部] 13時開演/[第2部] 15時半開演 ※詳細は裏表紙へ!

● 2020年1月11日(土) 野村万蔵による芸能サロン～狂言を楽しもう～ 14時開演

※詳細は川崎市文化財団HPをご覧ください。 <https://www.kbz.or.jp/>

- # 2019.11

KAWASAKI ART NEWS 11

川崎市市民ミュージアム〈中原区〉

企画展／10月12日(土)～12月15日(日)

犬塚 勉 風景が芸術になる

犬塚勉(1949-1988)は、川崎市に生まれ、中学校で美術を教えながら画家をめざしていましたが、38歳の時、谷川岳で短い生涯を終えました。本展では自然と真摯に向き合いながら描いた作品を紹介し、今なお多くの人々を魅了し続けている犬塚の魅力に迫ります。【熊リスの食卓】



1987年 アクリル・キャンバス 個人蔵

観覧料等

- 会 場: 2F企画展示室2
- 観覧料: 一般700円(560円)、65歳以上・大学生・高校生500円(400円)、中学生以下無料
- ※()内は20名以上の団体料金です ※障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料

企画展／9月18日(水)～11月24日(日)

のらくろであります! 田河水泡と子供マンガの遊園地

漫画家・田河水泡は今年生誕120周年を迎えました。本展では、明治からの子供向けマンガの歴史をふまえ、田河の代表作「のらくろ」とともに昭和戦前期に花開いた、知られざる「子供マンガ」の豊かな世界を再発見します。



観覧料等

- 会 場: 2F企画展示室1、アートギャラリー1
- 観覧料: 一般700円(560円)、65歳以上・大学生・高校生500円(400円)、中学生以下無料
- ※()内は20名以上の団体料金です ※障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料
- リピーター割: 2回目以降は半券提示で200円割引

企画展／9月3日(火)～12月1日(日)

昔のくらしと家庭の道具2019

大正から昭和にかけての人々のくらしの変化について、川崎市域で実際に使われていた生活道具や、茶の間や囲炉裏の再現模型、体験コーナーなどから紹介します。



撮影: 川崎市市民ミュージアム

観覧料等

- 会 場: 2Fアートギャラリー2・3
- 観覧料: 無料

映画上映

現代音楽と日本映画の交差点 1950s-1970s

本特集では、劇映画を中心に、国内における電子音楽の始まりを起点としながら1950年代から70年代頃の映画音楽に焦点をあて、現代音楽と日本映画の新たな表現への探求の軌跡を辿ります。



『無敵エロイカ』

【上映作品】『河 あゆみの裏切りが重く』『さらば夏の光』『心中天網島』『卑弥呼』『エロスと虐殺』『煉獄エロイカ』『戒厳令』『東京戦争戦後秘話』『儀式』『青幻記 遠い日の母は美しく』『ざ・鬼太鼓座 デジタルリマスター』『北村透谷 わが冬の歌』

上映日・料金等

- 上映日: 9月7日(土)～12月1日(日)の土日 ※休映日あり、詳細はHPへ
- 料 金: 1プログラムにつき 一般600円/65歳以上・大学生・高校生500円/小中学生400円
- ※未就学児、障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料

※その他、イベントの詳細は当館ホームページをご覧ください。
<http://www.kawasaki-museum.jp/>

中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 FAX. 754-4533
【アクセス】JR・東急「武蔵小杉」駅北口1番乗り場からバスで約10分
【開館時間】9:30～17:00(入場は閉館の30分前まで)
【休 館 日】月曜日(ただし、11月4日は開館)、11月5日(火)
<http://www.kawasaki-museum.jp/>

● ホームページ、Twitter、Facebook、Instagramにて情報発信中!



川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉

有料

企画展／10月26日(土)～2020年1月13日(月・祝)

岡本太郎美術館20周年記念展

これまでの企画展みんな見せます!

後期／芸術と社会・現代の作家たち

生前の岡本太郎氏から川崎市が2千点におよぶ主要作品の寄贈を受け、1999年10月に岡本太郎美術館が開館し今年で20年を迎えました。

開館20周年の記念として、これまでに開催してきた企画展を振り返り、展覧会を象徴する代表作品や資料を抽出し展示する展覧会を前期と後期に分けて開催します。

後期展では、震災、食、メディアなど芸術と社会との関わりをテーマとした展覧会と、TARO賞の作家や現代を生きた作家の作品を中心に展示します。



関連イベント

◆茶会 遊喜庵

秋の一日に、紅葉をながめながらお抹茶をいただきます。

岡本太郎美術館オリジナル茶会です。

- 日時: 11月3日(日・祝) 12:00～16:00
- 講師: 岩沢宗知(茶道裏千家流正教授)
- 場所: 母の塔前広場(雨天時は創作アトリエ)
- 対象: どなたでも ● 定員: 200名(先着順)
- 料金: 一人300円(お抹茶、お菓子)



◆専修大学生によるワークショップ

「顔は宇宙だ!キャンバスだ!」

常設展を巡りながら、岡本太郎の「顔」を発見できるツアーです。どんな生き物にもある顔を、太郎さんはどう表現したのでしょうか。自分が思う顔があってもいいじゃないか!

自由に太郎風の顔を描き、共同で作品を作りましょう。岡本太郎初心者も大歓迎です。

- 日時: 11月17日(日) ①10:00～11:30 ②13:30～15:00
- 対象: 小学生以上(未就学児は保護者同伴)
- 定員: 各回20名 ● 場所: 創作アトリエ、展示室
- 料金: 無料(要観覧料)
- 申込: 応募フォームより(詳細はHPをご覧ください。)



◆ウルトラセブン 握手・撮影会

永遠のヒーロー、ウルトラセブンと握手会! 記念のツーショットを撮りましょう。

- 日時: 11月24日(日) 11:00～11:30、13:00～13:30、14:30～15:00
- 場所: 企画展示室 ● 対象: どなたでも
- 定員: 各時間40組(一組は何名でも可)
- 当日9:30より整理券配布(定員になり次第締め切り)
- 料金: 無料(要観覧料)



常設展／10月19日(土)～2020年1月13日(月・祝)

岡本太郎美術館20周年記念展

「開運 岡本“福”太郎」

岡本太郎は油彩や彫刻に留まらず、版画やインテリ、グラフィック、写真、著述など幅広い制作を行っていました。一方で、逆境や危険にあえて立ち向かう岡本の芸術は、一貫して力強いエネルギーを持っています。本展では開館20周年を記念し、岡本の様々なジャンルの作品を集結させます。また、ご来館いただいた皆さまの運が開けることを願い、「太陽」をはじめとした縁起の良い色・形・主題を中心に紹介します。



《雲》1984年

観覧料等

- 料 金: 一般1,000(800)円、高・大学生・65歳以上800(640)円、中学生以下は無料
- ※()は20名以上の団体料金
- 休館日: 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土曜・日曜を除く)、年末年始

※その他、イベントの詳細は当館ホームページをご覧ください。
<http://www.taromuseum.jp>

多摩区枳形7-1-5 生田緑地内 TEL. 900-9898 FAX. 900-9966
【アクセス】小田急線向ヶ丘遊園駅南口徒歩17分、北口バス約10分
専修大学前下車徒歩6分
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)
【休 館 日】月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土曜・日曜を除く)、年末年始
<http://www.taromuseum.jp>

● ホームページ、Facebook、Twitterにて情報発信中



アルテリオ小劇場

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
 TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200 <http://kawasaki-ac.jp/>
 【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分
 お問い合わせ●川崎市アートセンター 044-955-0107



しんゆりジャズスクエアvol.41

THE GOLDEN AGE OF JAZZ



坂井レイラ知美



廣瀬みちる



田辺充邦



佐瀬 正



吉岡大輔

ジャズ黄金期の女性歌手による名唱曲の数々を坂井レイラ知美が唄う!ヘレンメリル、ジューンクリスティ、ジュリーロンドン、アニタオデイなど、おなじみの人気曲をお楽しみください。

演奏予定曲「Softly as in a morning sunrise」「Cry me a river」「Tea for two」「After you've gone」「Black coffee」「That's All」...etc.

2019年11月22日(金)19:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】坂井レイラ知美(vo)、廣瀬みちる(p)、田辺充邦(g)、佐瀬 正(b)、吉岡大輔(ds)

【チケット】一般2,500円、2枚セット券4,500円、4枚セット券8,500円(全席自由・税込)

第76回川崎市アートセンター

しんゆり寄席

11月は桂富丸をゲストに迎え、古今亭今輔作のネタを改作した十八番ネタ「老稚園」を披露します。新作落語を得意とする富丸のどんな噺が聞けるのか!お楽しみに!!

2019年11月23日(土・祝)14:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】桂富丸、桂米多朗、桂笹丸、瀧川どっと鯉

【チケット】一般2,000円、学生1,000円、小学生500円、2枚セット券3,600円、4枚セット券6,800円(全席自由・税込)

※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。

【お知らせ】仲入り後には演者からのプレゼントが当たる抽選会を開催。



桂富丸



桂米多朗

【チケット取扱い】川崎市アートセンター

- tel/「しんゆりジャズスクエア」: エリアブレイン 044-954-9990(平日10:00~18:00)
 「しんゆり寄席」: 川崎市アートセンター 044-959-2255(9:00~19:30、土日祝・原則毎月第二月曜除く)
 - web/川崎市アートセンター <http://kawasaki-ac.jp/th/>
 - 窓口/川崎市アートセンター 9:00~19:30(原則毎月第二月曜除く)
- ※「しんゆり寄席」の学生チケットは窓口のみ取扱い。要学生証提示。

貸館のご案内

アルテリオ小劇場では施設の貸出を行なっております。演劇・ミュージカル・ダンス・コンサート・発表会・セミナーなど様々な形態でご利用頂くことができます。基本形式193席の客席を有する舞台に加え、3つの楽屋や工房もございます。詳細はWEB(<http://kawasaki-ac.jp>)または川崎市アートセンター 044-955-0107までお問い合わせ下さい。



プライベート・ウォー

10.26(土)・27(日)、11.6(水)～11.15(金)

2018年|イギリス・アメリカ|カラー|1h50|DCP

監督:マシュー・ハイネマン

出演:ロザムンド・パイク、ジェイミー・ドナナン、トム・ホランダー

イギリスのサンデー・タイムズ紙の戦争特派員として活躍するアメリカ人ジャーナリスト、メリー・コルピンは、2001年のスリランカ内戦取材中に銃撃戦に巻き込まれて、左目を失明してしまう。黒い眼帯を着用し、PTSD(心的外傷後ストレス障害)に苦しみながらも、人びとの関心を世界の紛争地域に向けたいという彼女の思いは強まっていく。2012年、シリアの過酷な状況下にいる市民の現状を全世界に伝えるため、砲弾の音が鳴り響く中で過酷なライブ中継がスタートする。コルピン役をパイクが演じるほか、ジェイミー・ドナナン、トム・ホランダー、スタンリー・トゥッチらが脇を固める。



©2018 APW Film, LLC. ALL RIGHTS RESERVED

聖なる泉の少女

11.9(土)～11.15(金)

2017年|ジョージア・リトアニア|カラー|シネスコ|1h31|DCP 監督:ザザ・ハルヴァシ

出演:マリスカ・ディアサミゼ、アレコ・アバシゼ、エドナル・ボルクヴァゼ、ラマズ・ボルクヴァゼ、ロイン・スルマニゼ

ジョージア(グルジア)の南西部、トルコと国境を接するアチャラ地方の山深い小さな村が舞台である。村には人々の心身の傷を癒してきた聖なる泉があり、先祖代々、泉を守り、水による治療を司ってきた家族がいた。儀礼を行う父親は古い、三人の息子はジョージア正教(キリスト教)の神父、イスラム教の聖職者、無神論の科学の教師になり、生きる道が異なった。そして父親は一家の使命を、娘のツイスナメ(ナメ)に継がせようとしていた。その宿命に思い悩むナメ。彼女は村を訪れた青年に淡い恋心を抱き、他の娘のように自由に生きることを憧れる。一方で川の上流に水力発電所が建設され、少しずつ山の水に影響を及ぼしていた。そして父とナメは泉の変化に気づく…。



©BAFIS and Tremora 2017

パリに見出されたピアニスト

11.9(土)～11.22(金)

2018年|フランス・ベルギー|カラー|シネスコ|1h46|DCP 監督:ルドヴィク・バーナード

出演:ランペール・ウィルソン、クリスティン・スコット・トーマス、ジュール・ベンシェトリ

パリ、北駅に置かれた1台のピアノ。マチューの楽しみは、自分を追う警察官の目を盗んでそのピアノを弾くことだった。そこへ通りかかった音楽学校のディレクター、ピエールはマチューの才能に強く惹かれ、ピアニストとして育て上げたいと声を掛ける。乗り気ではないマチューだったが、実刑を免れるため無償奉仕を命じられた音楽院で、ピエールや厳しいピアノ教師エリザベスの手ほどきを受けることに。生い立ちに恵まれず夢など持たずに生きてきたマチューは、周囲との格差や環境の壁に直面しながらも、本気で音楽と向き合うようになっていく。



©Recifilms - TFI Droits Audiovisuels - Everest Films - France 2 Cinema - Nexus Factory - Umedia 2018

アポロ11 完全版

11.9(土)～11.15(金)、11.23(土)～11.29(金)

2019年|アメリカ|カラー|シネスコ|1h33|DCP

監督・編集:トッド・ダグラス・ミラー

出演:ニール・アームストロング、バズ・オールドリン、マイケル・コリンズ

1969年7月20日、アポロ11号が人類初の月面着陸に成功。50周年となる今年2019年の夏、アメリカ公文書記録管理局(NARA)とNASAにより新たに発掘された、70mmフィルムのアーカイブ映像や11,000時間以上もの未公開の秘蔵映像や音声データを基に制作された、前代未聞のドキュメンタリー。ロケット発射前から、月面着陸、そして地球生還までの9日間を詳細に捉え、4Kリマスターの圧倒的な映像美で再現する。



©2018 moon collectors llc. all rights reserved
©2019 Universal Studios. All Rights Reserved

人生をしまう時間

11.16(土)～11.29(金)

2019年|日本|カラー|ビスタ|1h50|DCP

監督:下村幸子

埼玉県新座市の堀ノ内病院に勤める小堀鷗一郎医師。東大病院在籍時には名外科医として名高かった小堀が医師生活最後の現場として取り組んでいるのが、在宅による終末期医療だった。医師、看護師、ケアマネジャーたちは、患者や家族たちと寄り添いながら、さまざまな難問に向き合い、奔走する。ひとりひとり、それぞれの人生の終わりに医療ができることとは何なのか。カメラは80歳の小堀をはじめとする在宅医療に携わる人々に200日にわたり密着し、在宅死の現実をつぶさに記録していく。



©NHK

今さら言えない小さな秘密

11.16(土)~11.22(金)

2018年|フランス|カラー|ビスタ|1h30|DCP 監督:ピエール・ゴドー
出演:ブノワ・ポール・ブルード、スザンヌ・クレマン、エドゥアル・ベア

プロバンスの村で一番の自転車修理工ラウルは、愛する妻子に囲まれて順風満帆な毎日を送っているかに見えたが、実は子どもの頃から誰にも言えない秘密を抱えていた。なんと彼は、自転車に乗ることができないのだ。自転車を愛し続けて生業にまでた彼にとって、それは悲しく致命的なことで、時が経つほど誰にも打ち明けることができなくなっていた。そんなある日、村人を撮影する写真家が、ラウルが自転車に乗って坂道を下る瞬間を撮影しようと言い出す。どうにか阻止しようと悪戦苦闘するラウルだったが……。



©RAOUL TABURIN 2018 - PAN-EUROPEENNE - FRANCE 2 CINÉMA - ALVERGNE-RHÔNE-ALPES CINÉMA - BELLINI FILMS - LW PRODUCTION - VERSUS PRODUCTION - RTBF (TELEVISION BELGE) - VOO ET BE TV

“樹木希林”を生きる

11.23(土)祝~終了日未定

2019年|日本|カラー|ビスタ|1h48|DCP
監督:木寺一孝 出演:樹木希林

2018年9月15日に逝去した女優・樹木希林の最後の日々を追ったドキュメンタリー。樹木に初めて長期密着取材し、18年9月26日に放送されたNHKの同名ドキュメンタリー番組に未公開映像を加えて再編集した。57年の役者人生の中で多くのドラマや歌番組、CMに出演し、日本映画界にとって欠かさない存在となった樹木希林。歯に衣着せぬ物言いと周囲への細やかな心遣い、あふれるユーモアで日本中から愛された彼女は、多忙な中でも日々の暮らしを大切に、人生なりゆきと語りながらも独自のスタイルを持っていた。そんな彼女の最後の日々を捉え、“なりゆき人生”と心に響く言葉の数々から生きるヒントを学ぶ。



CNHK

アルツハイマーと僕 ~グレン・キャンベル 音楽の奇跡~

11.23(土)祝~12.6(金)

2014年|アメリカ|カラー|ビスタ|1h44|DCP 監督:ジェームズ・キーチ
出演:グレン・キャンベル、ブルース・スプリングスティーン、ポール・マッカートニー、ジ・エッジ

ピーチ・ボーイズやフランク・シナトラの作品などに参加し、グラミー賞をはじめとする数多くの受賞歴を誇るカントリーミュージシャン、グレン・キャンベル。2011年にアルツハイマーを公表し、17年8月に81歳でこの世を去ったアメリカの国民的スター・ギタリストが病と闘いながらステージに立つ姿を追ったドキュメンタリー。アルツハイマーを患ったグレンは、医師からギター演奏を断念せざるを得ないとの忠告を受けていたが、2011年に家族とともに「さよならツアー」を敢行した。音楽とユーモアを処方箋としてアルツハイマーという病に立ち向かうグレンと家族たちに密着。ブルース・スプリングスティーン、ポール・マッカートニーらグレンゆかりの人々のコメントなどを交えて、グレン・キャンベルの人物像に迫っていく。



©2014 GC Documentary, LLC. All Rights Reserved.

レッキング・クルー 伝説のミュージシャンたち

11.23(土)祝~12.6(金)

2014年|アメリカ|カラー|ビスタ|1h41|DCP 監督:デニー・テデスコ
出演:ブライアン・ウィルソン、グレン・キャンベル、ジミー・ウェブ、ミッキー・ドレンツ

アメリカンポップスやロックンロールの黄金時代である1960年代から70年代に、エルビス・プレスリーやフランク・シナトラら偉大なアーティストたちのヒット曲を手がけた伝説のセッションミュージシャン集団「レッキング・クルー」にスポットを当てたドキュメンタリー。アーティストたちから絶大な信頼を寄せられ最高のサウンドを生み出しながらも、これまでほとんど知られることのなかった彼らの栄光と苦悩を描く。レッキング・クルーの伝説的ギタリスト、トミー・テデスコの息子デニーが、父が肺がんによって侵されたことをきっかけにカメラを取り、数年にわたって父をはじめとする関係者らにインタビューを敢行。



©2014 Lunchbox Entertainment

川崎市アートセンター

〒215-0004 神奈川県 川崎市 麻生区万福寺6-7-1

Tel. 044-955-0107 Fax. 044-959-2200 info@kawasaki-ac.jp http://kawasaki-ac.jp/

小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

チケットは当日9:00より受付にて販売します。(自由席/整理番号順入場)

◆各種割引デーあり

●木曜日はメンズデー ●金曜日はレディースデー ●夫婦50割

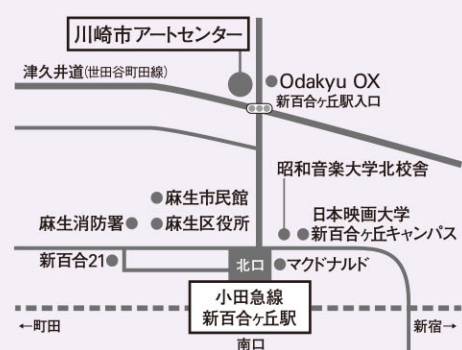
◆アルテリオ・シネマ会員募集中! いつでもお得なシネマ会員価格でみられます!

●入会金500円 ●年会費1000円(1年更新制)

●ポイント5つで招待券1枚プレゼント!

●同伴者割引:1名様まで、割引料金になります。

ご入会手続きは受付でのみ承っております。



毎月

第3火曜日
のお楽しみ
2019

ラゾーナ寄席

第89回

2019年

11月19日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

■会場…ラゾーナ川崎プラザソル

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F

■出演…春風亭柳之助・桂米多朗・柳家蝠よし・瀧川どっと鯉

■入場料…全席自由2,000円・25歳以下1,000円

(終演後のおたのしみ“交流会”…希望者のみ・参加費1,500円)

■予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル

電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151

E-mail: info@plazasol.jp http://www.plazasol.jp



春風亭柳之助

第118回 川崎市定期能

能と狂言

2019年12月14日(土) 会場: 川崎能楽堂

入場料: 各部 4,000円(全席指定)

U25 3,000円

※25歳以下の方、顔正面、中正面エリアのみ選択可。
購入時に生年月日のわかる身分証明書をお持ちください。

能
梅若
通小町
【かよこまち】
実(観世流梅若会)

狂言
三宅 近成(和泉流)
鐘の音
【かねのね】

第二部
15時 15時
30分 00分
開演 開場

能
角当 行雄(観世流梅若会)
葵上
【あおいのぼり】

狂言
三宅 右近(和泉流)
萩大名
【はぎだいよう】

第一部
13時 12時
00分 30分
開演 開場

能「通小町」
(撮影: 三上文規)

【チケット発売日】2019年11月8日(金) 午前9時より川崎能楽堂窓口にて発売(先着順) *残券があれば、同日正午より電話・ホームページでも販売いたします。

【チケット取扱・お問合わせ】川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 川崎市川崎区日進町1-37 窓口・電話 9:00~17:00(水曜定休日)

*但し初日のみ電話受付は正午から。窓口完売の際は電話での受付はいたしません。

川崎市文化財団ホームページ <https://www.kbz.or.jp/event/noh/20191214/>

*ホームページより申し込みの場合、予約確定は申し込んだ日の翌日となります。



主催:(公財)川崎市文化財団 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5F TEL.044-272-7366/FAX.044-544-9647

*開演後はご入場いただけない場合がございます。また、出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。なお、ご購入いただいたチケットのキャンセルや変更はできません。

定期能を
より楽しむための
事前講座演目や能について能楽師が
実演つきでわかりやすく解説します。
英語による解説も対応可。◆日時:2019年12月6日(金)14:00~15:30
◆会場:川崎能楽堂角当 直隆(観世流梅若会・シテ方) ◆定員:148名(先着順)
伶以野陽子(観世流梅若会・シテ方) ◆料金:無料

*第118回川崎市定期能チケットご購入者が対象となります。 *受講をご希望の方にはチケットご購入の際に整理券をお渡しいたします。*また、出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。

公益財団法人 川崎市文化財団

かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。



~川崎市文化財団公式 Twitter~

川崎市文化財団 @kbunkazaidan
<https://twitter.com/kbunkazaidan>〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階
TEL.044(272)7366 FAX.044(544)9647
<http://www.kbz.or.jp>
令和元年11月1日発行

川崎市文化財団

検索



●印刷・製本/八幡印刷(株) TEL.044-542-2311